



地域展開型芸術プロジェクト
Practical education of arts in Hiroshima

広島広域都市圏

×
芸術教育
×
地域貢献



8 ー 大竹手すき和紙 プロジェクト

漆造形



実施内容

江戸時代から大竹市を中心に製造されてきた「大竹手すき和紙」は現在、産業としては絶たれていますが、地域の住民を中心として組織された「おおたけ手すき和紙保存会」が中心となり、400年以上続いてきた伝統方法により、コウゾ栽培からその加工、すき手の育成から手すき和紙製造まで一貫して行なっています。

プロジェクトでは、「おおたけ手すき和紙保存会」の協力のもと、工房で実際の機械や道具を見ながら講義を受け、大竹手すき和紙の歴史や製造工程について理解を深めた上で、和紙の原料となるコウゾの栽培及び紙料を作る工程と、大舟を使った流し漉きの一連の作業工程を体験しました。その後、学生それぞれの専門分野の視点から和紙の新たな活用方法に着目して制作し、成果発表を行いました。

実施時期

2020年4月-2024年3月

実施場所

大竹市

traditional crafts

地域×伝統工芸